

製品名: Flg (リン酸化 Tyr654) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04674**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	full length 120-140kDa,FOP-FGFR1 90kDa

抗原情報

遺伝子名	FGFR1 FGFR1; BFGFR; CEK; FGFBR; FLG; FLT2; HBGFR; Fibroblast growth factor receptor 1; FGFR-1;
別名	Basic fibroblast growth factor receptor 1; BFGFR; bFGF-R-1; Fms-like tyrosine kinase 2; FLT-2; N-sam; Proto-oncogene c-Fgr; CD antigen CD331
遺伝子 ID	2260.0
SwissProt ID	P11362
免疫原	抗血清は、ヒト FGFR1 の Tyr654 のリン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 626-675

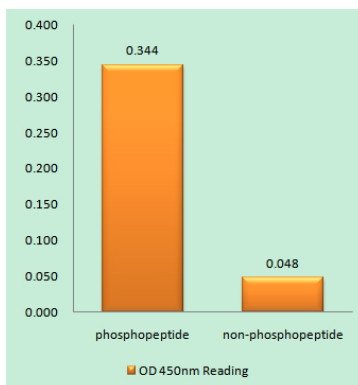
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は線維芽細胞増殖因子受容体 (FGFR) ファミリーのメンバーであり、アミノ酸配列はメンバー間および進化を通じて高度に保存されています。FGFR ファミリーのメンバーは、リガンド親和性と組織分布において互いに異なります。代表的な全長タンパク質は、3つの免疫グロブリン様ドメイン、1つの疎水性膜貫通セグメント、および細胞質チロシンキナーゼドメインからなる細胞外領域で構成されています。このタンパク質の細胞外部分は線維芽細胞増殖因子と相互作用し、下流のシグナル伝達経路を活性化させ、最終的には有糸分裂誘発と分化に影響を与えます。

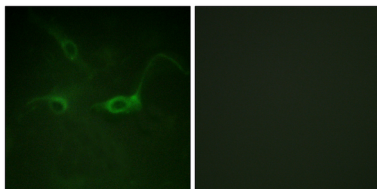
研究分野

MAPK_ERK_Growth;MAPK_G_Protein;Adherens_Junction;アクチンと細胞骨格を制御;がんにおける経路;前立腺がん;黒色腫;

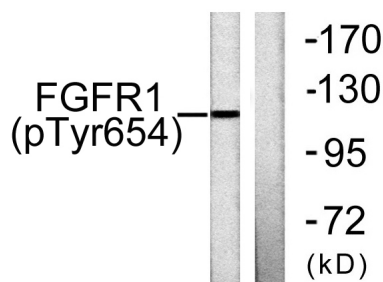
画像データ



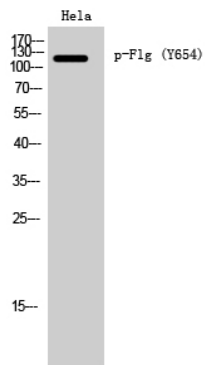
FGFR1 (リン酸化 Tyr654) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定法 (リン酸化 ELISA)



FGFR1 (リン酸化 Tyr654) 抗体を用いた COS7 細胞の免疫蛍光染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした画像です。



インスリン 0.01U/ml を 15 分間処理した 293 細胞ライセートの FGFR1 (リン酸化 Tyr654) 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。



1: 1000 希釈の Phospho-Flg (Y654) ポリクローナル抗体を用いた HeLa 細胞のウェスタンブロット解析